

清少納言

小式部内侍

右近

手古奈

松風

中條堀

羨福門院

佛市前

小督

静

和泉式部

赤深衛門

平肇子

玉藻前

村雨

二條院齋岐

菅諸

狹王

常盤市前

千手

巴

政子

式子内親王

阿古屋

上東門院

架波市前

辨内侍

三位局康子

藤原富子

地獄大夫

時子

淨瑠璃姫

鹿市前

建礼門院

板額

勾當内侍

伊賀局

熊谷

照天姫

大廳



浅君  
浅岡  
玉菊  
石束氏(良雄毒)  
秋色  
小紫  
お園  
お深  
お勲  
信夫

高尾 数代  
櫻姫  
浅井氏(瑞泉院)  
泊瀬川  
十七女  
お七  
千代  
夕霧  
宮城野  
尾上

お初  
鬼神お松  
お俊  
小野阿通  
市軋鹿文  
小宰相

お傳  
紅蘭女史  
智月尼  
二條の若高子  
市軋鹿文  
元正天皇

○填字

余学校(一) 読本(左)のまじり  
給好  
書蠅無

Economy  
Bulfinch

百八十六



今晚聖書無

今位置

紺塞

魔毒

惡咄

明日取蚤

有班馬

樹栗鼠謹慎

螺鈿

紅酢之凡節卜

Conversation

Composition

Compart

Murderer

Waltz

Astronomy

Algebra

Principles of Navigation

Scabin

Merchant of Venice

火草鳥

火失区

聖女

常食火

屁好大層

毛紅廉鳥

論字句

妻殺兒

泥印具

穢住竹

History

Physics (他人の意向)

Geometry =

Geography =

兵式体操

Chemistry

Logic (他人の意向)

Psychology (他人の意向)

Drawing

Arithmetic

百八十七



増町区数

字句手書無

字引書也

演

陰栗取

蛇人

不廉恥

愚乱麻

佛句

鳥好取

Mathematics

Dictation

Dictionary (他人翻句)

Novel

English

German

French

Grammar

Book (他人翻句)

Highonometry

毒艶洲

茶飯似酢飯一作矣

東粉

蛇蟠

米洲棒類拔刀



為痛

王懶惰

握而枯

Science

Chinese

Tobacco

Japan

Baseball bat

America

Spain

Holland

Portugal

百八十八



擒... 離... 捕兇

繪

貫子

洋喇叭

給師家

雨降?

取都

推良利家

臘借濟

Turkey (他人取回)

Egypt

Morocco

Europe

Asian part

Africa

Note (他人取回)

Australia (他人取回)

Bojariskm

產婦乱死子

鷓鴣道

以惚丹

喜石

不為

文次

比丘鳥唾

屁乱勢

許

球

San Francisco (他人取回)

Washington

Napoleon

Gladstone

Caesar (他人取回)

George

Victoria

Boulanger

Grant

Mary

百八十九



奇

狐狗巢

家苦寐人

提婆明日

佛世

爺婆礼無

大嗅見

Strange

Cox

Spine

British

Spine

Chamberlain (奇人想)

大鏡

45-50

○大三十日の借金を始末

大三十日、ゆかりの忙しだけ、あれだけ、借金をお困る者、  
多きうけなり、まじ、たまの、これ、同、様、已、け、な、れ

も、歳暮、年、始、と、い、て、や、り、ま、け、ら、に、候、を、是、す、と、多、す、  
者、な、し、に、あ、の、の、ま、は、り、に、ま、り、ま、り、な、し、に、い、く、歳、暮、  
なり、と、い、ふ、い、ふ、な、り、な、れ、と、い、ふ、者、な、し、に、い、く、歳、暮、  
と、い、ふ、者、な、し、に、い、く、歳、暮、と、い、ふ、者、な、し、に、い、く、歳、暮、  
大、あ、い、や、く、十、年、あ、い、や、く、と、い、ふ、者、な、し、に、い、く、歳、暮、  
者、な、し、に、い、く、歳、暮、と、い、ふ、者、な、し、に、い、く、歳、暮、  
蓋、一、文、の、の、ま、は、り、に、ま、り、ま、り、な、し、に、い、く、歳、暮、  
なり、の、の、ま、は、り、に、ま、り、ま、り、な、し、に、い、く、歳、暮、  
者、な、し、に、い、く、歳、暮、と、い、ふ、者、な、し、に、い、く、歳、暮、  
ふ、と、い、く、歳、暮、と、い、ふ、者、な、し、に、い、く、歳、暮、  
ふ、と、い、く、歳、暮、と、い、ふ、者、な、し、に、い、く、歳、暮、

百九十一





せりと借金をせりしとあり。明治十一年の江余の井  
林氏清取氏と其子神田の板垣とふりあはれふりあはるるの  
お母の下あをへの拂ひあはに備へり年々その者も相七は  
田を侮せり。しるごとあかたの妻共十二の者のいよりあは  
く。之をけられども。私に事か。約をせり。の他はとねね  
むすのさし。のあが。口上。せり。をさす。あは。て。せり。の。い  
りり。し。井林氏。あ。の。借。但。お。は。り。し。人。ご。の。か。新。を。は  
し。し。一向。ふ。由。入。押。入。余。は。は。氏。と。二。人。あ。く。取。め。る。債  
鬼。を。追。ひ。拂。へ。は。清。取。氏。は。然。り。と。し。て。泣。笑。す。の。こ。え。す。の  
舌。刺。を。あ。り。て。敵。の。徴。を。い。ふ。と。され。一。人。せ。ら。れ。む。三。十

一。の。印。ち。大。三。十。と。ふ。の。た。に。は。た。ま。り。あ。ぬ。え。余。は。清。取。氏。を  
由。み。強。し。て。家。を。い。ぬ。こ。い。を。さ。か。ん。佐。な。る。あ。は。ん。ど  
美。清。取。か。よ。お。は。は。敵。の。攻。め。あ。る。者。ふ。余。を。あ。が  
け。あ。る。い。さ。れ。む。余。が。て。は。余。は。い。ら。あ。ら。る。君。を。攻。む。と。い  
ち。の。い。ふ。し。と。約束。し。ぬ。は。神。事。の。久。松。野。を。い。お。合。る  
せ。ん。と。あ。り。し。余。は。い。ら。あ。ら。る。後。河。を。た。て。三。並。氏。の  
下。あ。あ。り。て。後。次。を。送。り。假。人。邸。宅。作。新。年。か。い  
え。あ。ら。る。の。ぬ。お。え。る。と。あ。り。の。れ。ど。よ。ら。の。難。意。解。を  
か。い。く。眼。を。こ。も。し。三。並。氏。と。其。ふ。久。松。野。を。い。く。と。あ  
り。し。清。取。氏。あ。ら。ぬ。時。の。戦。争。の。様。様。あ。ら。る。ぬ  
百九十一



1770  
りにはるは例の激突被りて説き出す様う君の通逃  
後拂をして味をばい敵はす妻のあらうめつす様中  
立てらうて敵は初をばいといとあり其の三もふ藩國  
をかあつてけりあつり(はる余昔の借りしる二河にてあ  
るも真三もをけりき)されじ一は鬼の足跡しゆえ  
うじ余の狸をばいふせんかたなく(うをのぞい)しり  
かてゆり去りぬ余はさすきなりと程しりきをさす  
いそひりゆふじよとなりれむせし隙を待ちまうて  
枕えおおき立ちあがりなり余は飯を喰ひたく思ひ  
んまを様とめてあつたとぬだけなめて又様とんてん

僕だつて死つとせんとせんやサつひふめんして書飯  
も喰ひぬとさうといふふいぬがうへ敵は攻めぬさ  
ふいまあつれぬと僕に仇あせまうて死ぬる地なり云  
と語りぬおきらばまふ借借てせりといへば推さしをい  
しはるなりといふいぬがういぬがうを圍りたり  
と「えりやめらの鬼が借まはししふ位なれど推意の  
借むらの借錢にりかしてさうといふはあつれぬといふ  
花畑に男がとむ推意を五杯は六杯かしてあつた  
さしをといふといふ、余は推意をさすゆいといふの  
ゆい推意のとありしるあつたり



〇タチツテト

日本の五十音の申ツし最不道押するハタ行カシニ  
ツビの...行(カ)の...音...同...子...申...  
カ...子...音...  
タチツテト

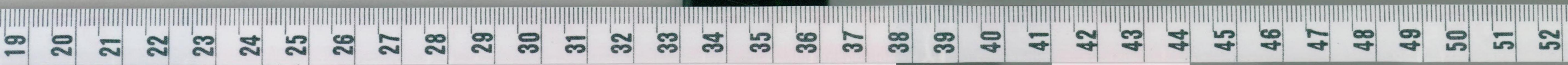
Ta Ti Tu Te To  
Ti Tu  
Zi Zi (独逸音)のニ音...  
Tsu...  
Ta

you yi yu yo (ヤチツテト)

の...  
あ...  
て...  
て...  
又ハ行

ha hi hu he ho  
...  
fa fi fu fe fo

百九十三













一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

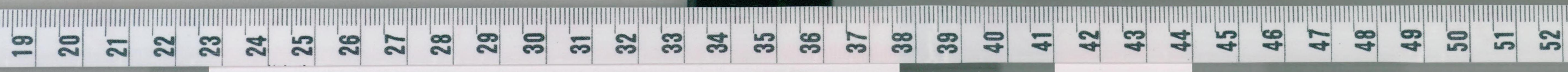
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、



高麗を弄りし、松竹ののど御さし〜さるるもはは〜とてたわ  
たり、たゞを仰の振向に言ひ流し〜とてたわ松ありとらん  
のりきり、只上巻の結末のむ物おせんものた〜く〜もや松板杯  
のゆもく、瑞ふれた都の園にぞおふ十人許りの女中を  
さや〜やあ〜い、立仙〜と〜と〜人のと、去却り、う歌仙さく  
ちるま〜、園十の文の、赤青、おの黄つ〜、打てわり  
ま〜、せ〜と〜れ〜の〜ま〜、其跡し中〜、新〜や  
このせ〜、〜、其外、松板杯、御さ〜、〜、他〜、〜、  
に〜、〜、〜、〜、〜、〜、〜、〜、〜、〜、  
果して、漢朝の、後、良〜、〜、〜、

○道中の佳景

岳阿道、鉄道といふ年、今通せり、余は、はるる物ある、  
も、海舟を、せ、性復せ〜、が、函根つ〜、の、山道の、性快、  
人の、御さ〜、所、なる、の、其、都、早、し、て、信、も、早、ま、は、道  
の、景、條、と、な、く、〜、せ、は、終、せ、る、所、何、の、は、曲、〜、と、お、あ、れ、い、れ  
な、お、見、ゆ、〜、あ、と、松、竹、中、の、鳥、さ、は、は、ある、者、の、〜、し、梅  
は、色、の、〜、〜、ふ、い、東、京、よ、り、の、り、別、も、な、ら、ぶ、(右、側、を、〜、と、  
〜、た、身、の、〜、〜、な、の、む、せ、ふ、た、〜、〜、〜、〜、(は、お、つ、り、の、り、ゆ、  
〜、い、ける、面、を、〜、松、竹、を、〜、〜、〜、〜、〜、愉、快、な、の、り、た、甚、ら  
〜、あ、る、の、絵、画、的、な、の、り、身、の、ゆ、は、は、近、傍、〜、〜、〜、を、  
百九十七





















つるし、むらう、く、議、論、す、る、事、を、い、く、和、久、氏、は、終、に  
議、決、せ、ん、と、い、ふ、事、を、い、く、議、決、の、終、に、以、余、の、事、を、い、く、  
い、く、と、い、ふ、事、を、い、く、東、京、松、山、比、谷、表、を、決、ま、せ、たり  
比、表、は、中、村、伊、藤、年、末、尾、村、河、東、諸、君、の、与、り、い  
か、を、い、く、と、い、ふ、事、を、い、く、

東京  
宮城  
内閣  
比内  
日比谷練兵場  
松山  
松山城  
縣廳  
堀内  
堀内練兵場

青山練兵場  
東京補廳  
警視廳  
帝國大學  
第一高等中學校  
横濱  
新橋横濱間鉄道  
品川停車場  
隅田川  
木母寺  
一万練兵場  
和氣久米温泉郡役所  
松山警察署  
松山師範學校  
尋常中學校  
三津  
松山三津間鉄道  
三津口停車場  
石手川  
石手寺



吾妻橋

三義

番町

日本橋通

傳馬町通

人形町通

愛宕山

神楽山

飛鳥山

増上寺

五花橋

出合渡

一番町 二番町 三番町

長町

本町

大街道

東雲臺

西山

道後公園

大林寺

金春島森

芳原

洲崎

神田川

九段坂

湯島天神

山王

神田明神

氷川神社

池上本門寺

千船町

道後松ヶ枝

三津新地

中川

毘沙門坂

立花天神

道後八幡

阿沼美神社

雄栗神社

西山石塔



千住口  
千住大橋  
上野東照宮  
江戸川製紙場  
下石三味線地近辺  
日本橋魚河岸  
本願寺  
日本橋  
愛宕下  
西ノ窪

新五口  
新五橋  
東雲神社  
新場所  
四休寺借屋  
日切前魚市  
勸善社  
札ノ辻  
病院下  
西ノ窪

新宿  
博物館  
鹿鳴館  
日本銀行  
三井銀行  
東京ホテル  
八百松  
八百膳  
無極庵  
大光

藤原  
物産陳列所  
公会堂  
五十二国立銀行  
越前組  
木戸屋  
中ノ木  
花通舎  
うぐいし屋  
米周







松出芳のりてより以来の甚るるを考みしれ

~~三光日月星~~

~~三光日月星~~

~~三光日月星~~

~~三光日月星~~

三光日月星

三光日月星を余の謂を曰く乃人車坊に向して「三光日月星」といふ句の對を求めしふ車坊を余の謂にして四詩風雅頌と云ふ一の余の謂を曰く「道神儒佛」といふと云ふ

君は信ふ之を信ふし余の謂を思ふべく車坊の對とに  
齊し練々の對に己の妙し余の謂を思ふべく人車坊の對  
句を考まきつたりといふと云ふは余の謂を思ふべく

四時雪月花 一室琴棋画 一園劉閏張

太牢牛羊豕 万物大中小 兆民老壯幼

一日晨午昏 万事去来今 一气天地人

一心情智意 百色黄青赤

余「一氣天地人」の句を信じて練々の句を余の友人某君とて「一  
揆天地人の句を信じて君の句と相照らせば彼れは漢學者の  
口を以てて君は哲學者の思想を以てして云ふと云ふ

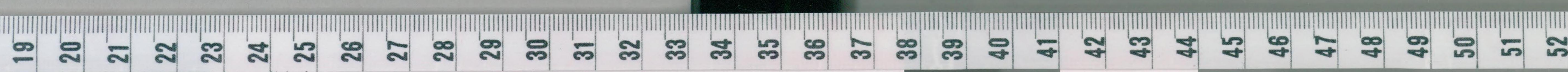


ひ●たり  
Yamada Gensho  
1911

新○對句  
2940-2941-2942-2943-2944-2945-2946-2947-2948-2949-2950-2951-2952-2953-2954-2955-2956-2957-2958-2959-2960-2961-2962-2963-2964-2965-2966-2967-2968-2969-2970-2971-2972-2973-2974-2975-2976-2977-2978-2979-2980-2981-2982-2983-2984-2985-2986-2987-2988-2989-2990-2991-2992-2993-2994-2995-2996-2997-2998-2999-3000

對句の面白きは、  
一としていたる句は、  
人やおかしきや、  
おもしろい句は、  
と、漢語の、  
のて、  
余は、  
を、

く、  
か、  
た、  
似、  
星、  
せ、  
面、  
○  
常、  
人、



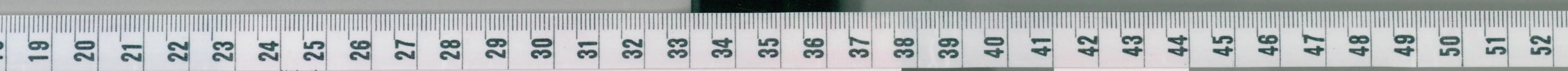


第一号室 月の間 釣針の間 氣象臺  
 第二号室 雲の間 長短の間 <sup>ナガミ</sup> 地理局  
 第三号室 丁字の間 柏子木の間 税関  
 第四号室 松の間 水火の間 農商務省  
 第五号室 櫻の間 狂人の間 会計検査院  
 第六号室 梅の間 音の間 砲兵工廠  
 第七号室 菊の間 窓席の間 <sup>ヨシ</sup> けつわんの間 <sup>帝國議會</sup>  
 第八号室 竹の間 茅之間 内閣編輯局  
 第九号室 牡丹の間 藻の間 樞密院顧問官事務所

第十号室 亀の間 ともりのり <sup>り</sup> 桂寺局  
 第十一号室 翁の間 入るすの間 鑛山局  
 第十二号室 鶴の間 粟粒の間 北海道廳

○夢の場所

余は夢をたてり人ごとの場所をたてるとなり一歩へる東京  
 の松山といふところからいふはあり或は東京との海河  
 流の間に一歩ふまきまつてのこともあつて居るあれども夢  
 中の海河流は實際の海河をたてた地を記し擬括括して  
 りのりし余は夢をたてりあふきハエを思ふに必ずあま





海と見たりたる交さるるははるかにあり

○十日御相

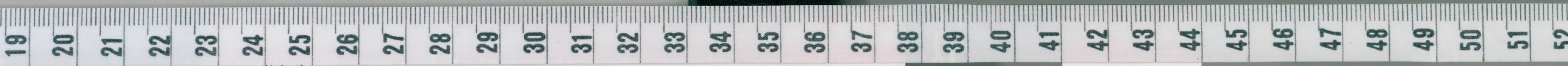
余は如休業ふ物ありたるははるかにありて廿四日おす白と  
共ふ新物傳を飾をぬしゆのち端板を飾ふ一泊一  
翌日の宿相ふ一泊せん宿相のちききき所せられしつゝまゐ  
て交さるる御相し所とありてお目せられしはるかにあり  
お中の交さるる軒端のたて方ゆへお目せられしはるかにあり



お目せられしはるかにありてお目せられしはるかにあり  
お目せられしはるかにありてお目せられしはるかにあり  
お目せられしはるかにありてお目せられしはるかにあり  
お目せられしはるかにありてお目せられしはるかにあり  
お目せられしはるかにありてお目せられしはるかにあり  
お目せられしはるかにありてお目せられしはるかにあり  
お目せられしはるかにありてお目せられしはるかにあり  
お目せられしはるかにありてお目せられしはるかにあり  
お目せられしはるかにありてお目せられしはるかにあり  
お目せられしはるかにありてお目せられしはるかにあり

軒あり余の宿せり宿をいしはるかにありてお目せられしはるかにあり  
軒相伝を飾をぬしゆのち端板を飾ふ一泊一  
●お目せられしはるかにありてお目せられしはるかにあり  
お目せられしはるかにありてお目せられしはるかにあり  
お目せられしはるかにありてお目せられしはるかにあり  
お目せられしはるかにありてお目せられしはるかにあり  
お目せられしはるかにありてお目せられしはるかにあり  
お目せられしはるかにありてお目せられしはるかにあり  
お目せられしはるかにありてお目せられしはるかにあり  
お目せられしはるかにありてお目せられしはるかにあり  
お目せられしはるかにありてお目せられしはるかにあり

二百





年し若く一人がたむを我輩の教師、他にこの年の師  
龍宮村のおめし此の法師の如余は猶だしてて  
うおはまきとてしめたりしが所おはりの余の領分おはる  
村の役となりぬおはりおはる者とよ人の来りぬは  
儀の師龍宮村のおめしとてしめたるおはる者  
とておはるの由なりしにこのおはるの由を  
いふ二人ともておはるおはる一人おはるは多し  
置居りありおはるおはるの由なりしに  
おはるおはるおはるおはるおはるおはる  
おはるおはるおはるおはるおはるおはる  
おはるおはるおはるおはるおはるおはる

も知てておはるおはるおはるおはるおはる  
おはるおはるおはるおはるおはるおはる  
おはるおはるおはるおはるおはるおはる  
おはるおはるおはるおはるおはるおはる

○五友の遊ば

余は幼時御おはるおはるおはるおはるおはる  
おはるおはるおはるおはるおはるおはる  
おはるおはるおはるおはるおはるおはる  
おはるおはるおはるおはるおはるおはる  
おはるおはるおはるおはるおはるおはる  
おはるおはるおはるおはるおはるおはる  
おはるおはるおはるおはるおはるおはる  
おはるおはるおはるおはるおはるおはる  
おはるおはるおはるおはるおはるおはる  
おはるおはるおはるおはるおはるおはる













謝鳳 謝紹宗

陶侃 母

孟子 母

柳仲鄂 母

王銓 王錫

元方 季方

宋郊 宋祁

趙孝 趙礼

伯夷 朱有

姜肱 姜海 姜江

田真 田慶 田廣

楊素 楊愔

符賢 符朗

程顥 程頤

蘇老泉 蘇東坡 蘇子由 知直 忠度



洋

ヒツト父子

カトウ

ナホレオニ二世及ヒ三世

ジリアス・ビーガー オクタビアス・ビーガー

森本泉 森東所 藤子由

藤野 藤野

藤野 藤野

藤野 藤野

藤野 藤野

和

源経基 頼光 頼義 満仲 義家 義光

義朝 為朝 頼朝 義仲 義経 範頼

実朝 (常盤)

平貞盛 忠盛 清盛 重盛 知盛 忠度

敦盛 通盛

北條時政 時子 義時 泰時 時頼 時宗

柳正成 正行 正時 正儀 楠清 兄

安部貞任 宗任

佐々木盛綱 高綱

二百十三





梶原景時 景季

藤原伊賀守 伊賀局

新田義貞 義助 義隆

足利尊氏 直義 義満 義隆 義隆

藤原鎌足 百川 良房 基経 時平 公任

蘇我馬子 入鹿 奇道 重道 味道 出雲

物部興 守屋

曾我十郎 武弁郎 時政 時義 時隆

菊池直光 武光 武時 武中 武隆 武隆

北條早雲 氏康

佐藤嗣信 忠信 将部三信 元信 春水 景隆

俊成 小女 春長 長 隆 光信 光則 如慶 具慶

徳川家康 秀忠 家光

幸田昌幸 幸村 大助 里村昌琢 日昌隆

中井積善 積徳 竹春順 宝井其角

林羅山

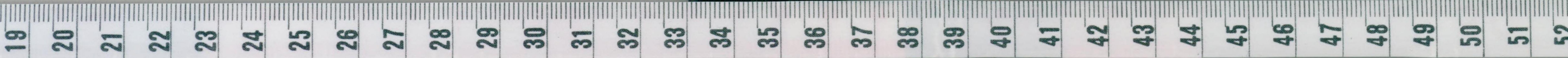
瀬春水 杏坪 山陽 三封三郎

毛利元就 元春 隆景

細川頼之 勝元 隆景 隆景 隆景

伊藤仁斎 東涯 皆川淇園 富士谷成章 日御杖

二百十四





本居宣長 林井 春庭 石川豊信 同雅望  
大石良雄 主杭 彌原貞柳 紀海音  
井伊直政 掃部頭直弼  
藤田東湖 小四郎  
義公烈公  
西御隆盛 後道  
眞作秋坪 麟祥 大麓 佳吉 元八  
佐藤尚中 杉本順  
岩村通俊 祐有造 岩村高俊  
尾上菊五郎 阪東嘉橘 為永春水 瀧亭鯉丈

穂積陳重 八束 豊前橋本(又) 同(午之助)  
渡部信基 昇 保三郎  
山東京傳 京山 北村季吟 河春  
廣瀬淡窓 旭莊 青村  
青山延子 延光 延壽  
紀貫之 女 清原深養父 同元輔 清少納言  
紫式部 大貳三位辨局 藤原為時  
和泉式部 小式部内侍  
荒木村重 岩佐又平  
頼春水 杏坪 春風山陽 三樹三郎







雀 雀 滌 悔 快 瀆 圃 丸 怪 外  
 (鶴雀) (觀觀) (滌滌) (滌滌) (滌滌) (滌滌) (滌滌) (滌滌) (滌滌) (滌滌) (滌滌)  
 (滌滌) (滌滌) (滌滌) (滌滌) (滌滌) (滌滌) (滌滌) (滌滌) (滌滌) (滌滌)

二百十七

類 月 元 會 華 寡 科 戈 火 化  
 (類類) (月月) (元元) (會會) (華華) (寡寡) (科科) (科科) (戈戈) (火火) (化化)  
 (類類) (月月) (元元) (會會) (華華) (寡寡) (科科) (科科) (戈戈) (火火) (化化)

二百十八



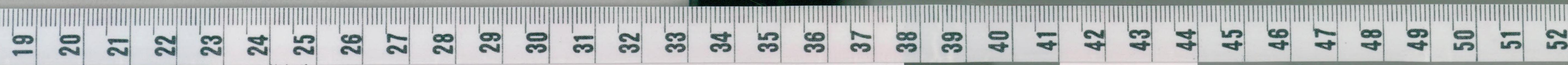
卦 禾 爰 欵 擴 無 塊 植 冠 確  
 (和科) (環綴) (換燃) (魁隗) (例外) (例外) (例外)

又「光皇廣」のまに「名」の言なれど我地方に「は」おせり  
 又「赫」の字は我地方に「ハ」カリといひ「ハ」せむ「ハ」し「ハ」ク「ハ」リ  
 と「ハ」が「ハ」に「ハ」あり「ハ」ら「ハ」る「ハ」ら「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る

○高鼻の利害

鼻の高き「ハ」美なり「ハ」相違なれど「ハ」り「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る  
 「ハ」は「ハ」人の「ハ」心「ハ」を「ハ」思「ハ」ふ「ハ」す「ハ」鼻の「ハ」美「ハ」なり「ハ」も「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る  
 「ハ」あ「ハ」ら「ハ」ず「ハ」して「ハ」寧「ハ」り「ハ」形「ハ」状「ハ」あり「ハ」と「ハ」思「ハ」ふ「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る  
 「ハ」他「ハ」の「ハ」何「ハ」の「ハ」は「ハ」も「ハ」つ「ハ」や「ハ」物「ハ」の「ハ」開「ハ」き「ハ」者「ハ」の「ハ」は「ハ」ら「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る  
 推「ハ」つ「ハ」の「ハ」然「ハ」あり「ハ」又「ハ」鼻「ハ」も「ハ」も「ハ」多「ハ」く「ハ」吸「ハ」い「ハ」た「ハ」ま「ハ」る「ハ」れ「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る  
 鼻「ハ」の「ハ」高「ハ」き「ハ」を「ハ」吸「ハ」い「ハ」た「ハ」ま「ハ」る「ハ」れ「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る「ハ」る

二百十八



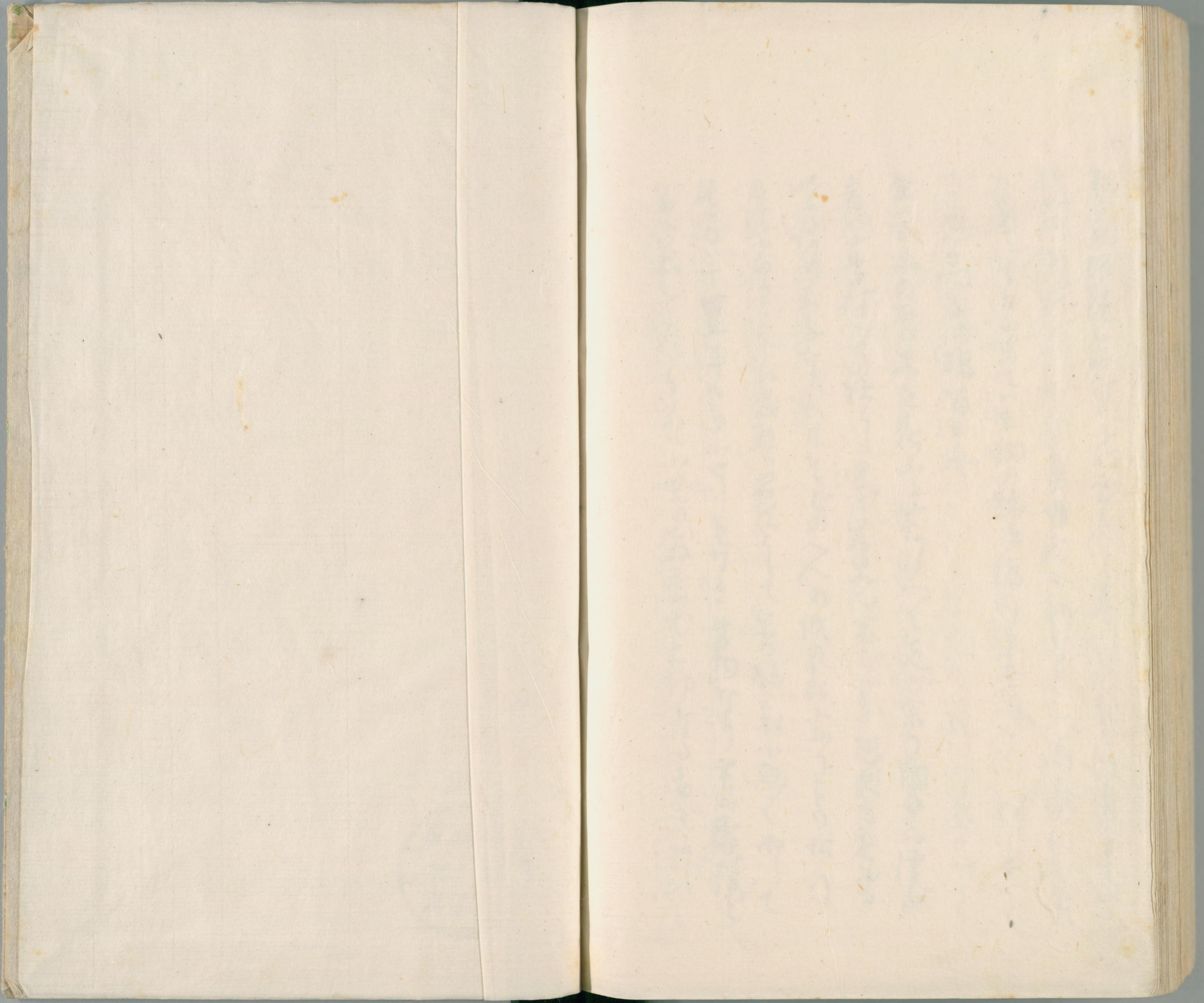










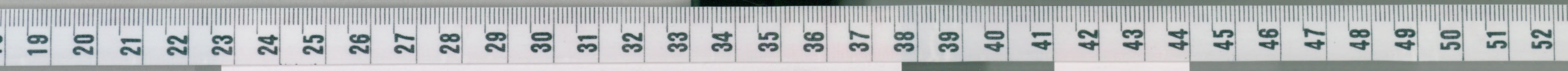
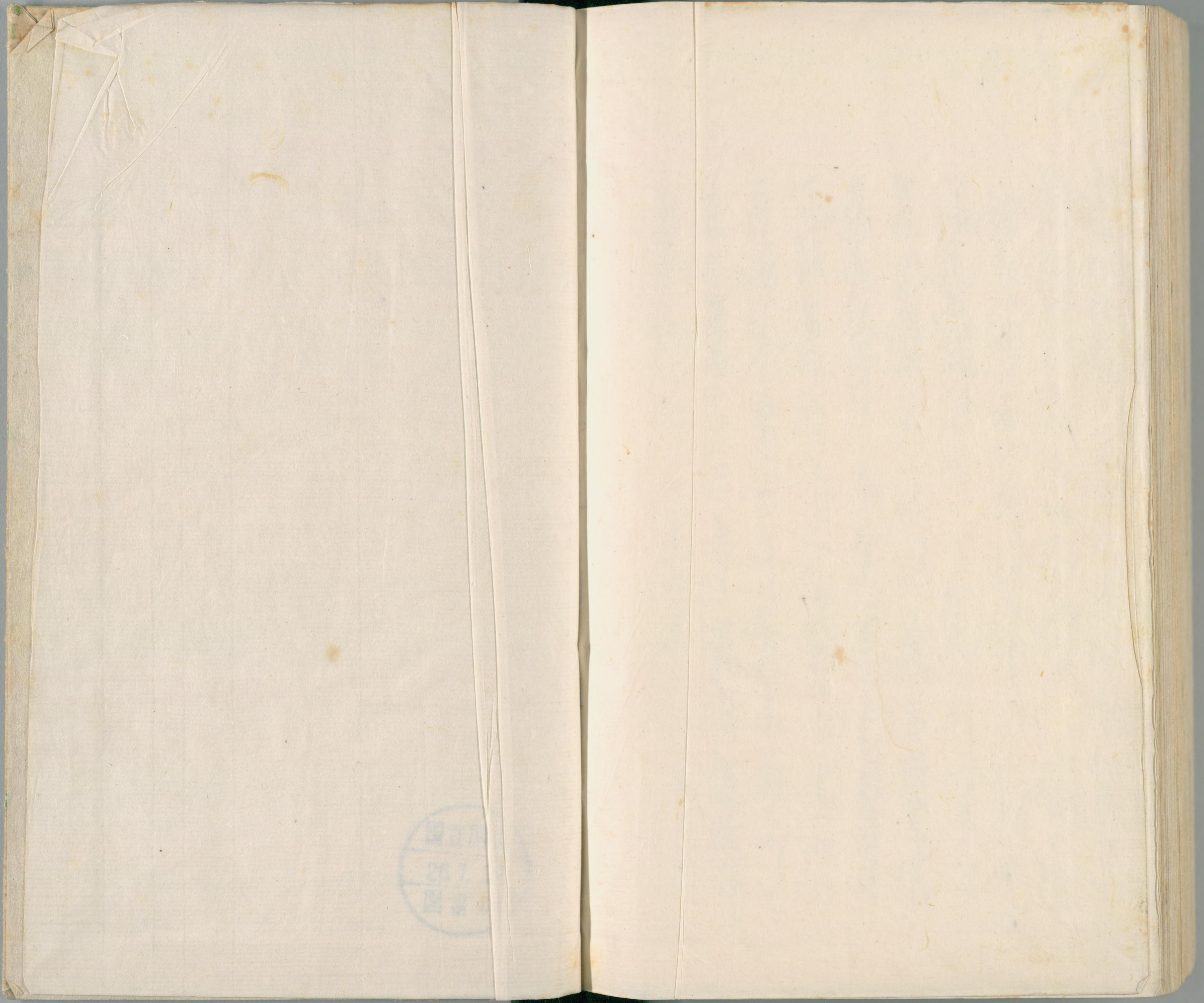


19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52

国立国会図書館 タイトル『筆まかせ：第1-4編』 請求記号 WB12-18

ガラス使用





国立国会図書館 タイトル『筆まかせ：第1-4編』 請求記号 WB12-18

ガラス使用



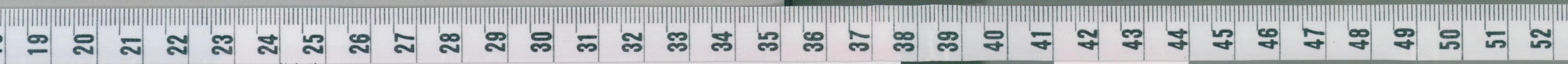


国立国会図書館

タイトル『筆まかせ：第1-4編』 請求記号 WB12-18

ガラス使用





国立国会図書館 タイトル『筆まかせ：第1-4編』 請求記号 WB12-18

ガラス使用